

はじめに

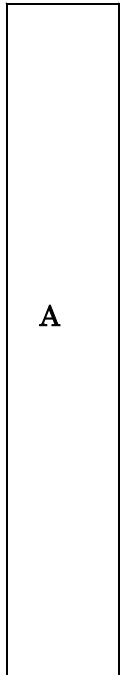
前時は段落の要点を捉えました。まず、解答例を見て前時の内容を確認しましょう。
本時は前時の内容を踏まえ、本文の構造を図式化して捉えましょう。

課題 次の空欄を補充して、本文の構造を理解しよう。

★第一段 問題提起

「うれしかった話」

=



|| 発見

この発見がなぜうれしかったのか||主題

★第二〜六段 「色」の捉え方についての議論 (①〜⑤)

①第二段 物理が描く色の世界||色は人の [B] である

=

物には [C] はなく、世界は [D]

=

人は世界から分離されている?

②第三段 常識的 (直感的) な捉え方||世界は色に [E]

=

色は物の性質であり、

人の感覚の中だけにあるのではないと考えたい

=

人と世界は結ばれているはず

③第四段 [F] の中では光が当たらないからバラは赤くない

色は物の性質ではない||やはり人は世界から分離されている?

④第五段 色は物に光が当たりできるものである

▼例「虹」↓気づき||バラは人が見ていなくても赤い

⑤第六段 雷鳴が、空気を媒介にして世界の中で響くように、

色は物の性質でもなく、人の感覚でもない、

世界の中の [G] である

=

呆然とした

★結論 うれしかった理由

=

人は世界と色によって結ばれている